



隠岐の島ウルトラマラソン



●化粧した若者が胸を打つ陰陽胴打ち

二年に一度太陽と月が出会う隠岐武良祭風流

10月19日(水)、中村で島後三大祭りの一つ、隠岐武良祭風流が行われました。元屋八王子神社と中村一之森神社から、それぞれ日天子と月天子をのせた行列が出発し、甲冑をつけた行司の礼拝や、若者が舞いながら胸を打つ陰陽胴打ちなど古式にのっとった多彩な行事が行われました。

当日は青空が広がるさわやかな秋晴れで、訪れた人たちは2年に1度の大きな祭りを興味深く見守っていました。

今年最後の本場所 一夜嶽牛突き大会

夏場所大会(モードーム・8月15日)、八朔大会(佐山牛突き場・9月1日)に続く、隠岐牛突き本場所の千秋楽、一夜嶽牛突き大会が10月13日(木)、一夜嶽牛突き場で行われました。

取組は7番(引き分け4番、勝負3番)で、正午の土俵入りから多くの牛突きファンが集まり、熱の入った取組に歓声が飛んでいました。



●隠岐三大場所の千秋楽、一夜嶽牛突き大会



●新しいお堂に移された3体の仏像

先達の想いを受け継ぎ 地域でお堂を建てる

明治2年(1869年)、廃仏毀釈(はいぶつき)により運動は隠岐の島でも起こり、島内の寺堂などほとんどが打ち壊し、焼き打ちに遭いました。

上西雨来の伴桂寺も建物から仏像まで打ち壊しに遭いましたが、伴桂寺の寺僧を初めとする多くの人々の手により、本尊仏ほか2体の仏像が難を逃れて隠され、残される事になりました。

仏像は今まで仮本堂に安置されていましたが、雨来地区で寄付を募って、また地域の人も工事をするなどして新しくお堂を建て直し、3体の仏像はそちらに移されています。

この建て直しの音頭をとった雨来の脇 弥代一さんは、「仏教の復活ということではなく、この仏像をここまでして隠して守ってきたという先人の思いを大切にしなければならぬ」ということで、地域で協力して建てました」と話してくださいました。

総合誌

隠岐の島

おきのしま



OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 17,294(+10)人 男 8,227(-2)人 女 9,067(+12)人 世帯数 7,374(+12)戸

(平成17年11月1日現在、カッコ内は前月比)

●隠岐の島ウルトラマラソン開催

総合誌隠岐の島12月号

(通算第14号)

- 編集・発行
隠岐の島町役場情報課広報公聴係
〒685-8585
島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地
TEL(08512)2-2111 (代表)
FAX(08512)2-6477 (情報課直通)
- ホームページ
<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>
- Eメール
jouhou@town.okinoshima.shimane.jp

一・月・一・話

今回は4ページに渡ってウルトラマラソンの模様をお伝えしましたが、いかがだったでしょうか。

当日は3チームで分担してビデオとカメラを手に島を駆け回り、写真は1100枚、ビデオは8時間分を撮影。移動はもちろん自動車、歩いた距離は微々たるものだったはずですが、日が暮れるころには足が棒のようになっていました。この距離を2本の足だけで走りきったランナーたちの体力、精神力には恐れ入るばかりです。

それにしても、実際に各地を回って見た印象ですが、給水所でドリンクを渡す人も、沿道で旗を振る人も関わった全ての人が、ランナーに接するとき「もてなし」の心で迎えていたように思います。この日は本当に島が一つになったと感じました。

筋肉痛になった甲斐があったというものです。

(安)

隠岐の島ウルトラマラソン

昨年10月に合併してから1年、参加選手472人、ボランティアスタッフ1000人を動員する大規模なイベントとなった隠岐の島ウルトラマラソン。当日の様子、後日談などウルトラマラソンの表舞台と裏舞台をご紹介します。



▲都万、県道の西郷都万五箇線と中村津戸港線がぶつかる三叉路付近。しばらく平坦な道が続きます。海を見ながらちょっと一息



◀小田付近の様子。雨の早朝にも関わらず、沿道には声援を送る人の姿がありました。左の奥に見える光はイカ釣り船の照明。

大会前日、強風波浪警報発令 ベテランランナーも戸惑う

大会前日の10月22日(土)、それまで雨も風もなく穏やかな天気だったのが一転、嵐のような大しげに。飛行機と朝昼のフェリーはなんとか出たもののレインボーは全て欠航し、65人のランナーが隠岐に渡る前に涙を飲む結果となりました。

また、渡ることができたランナーも揺れる飛行機、慣れないフェリーと大しげにかなり戸惑いがあったようで、始まる前からこれほど悩まされたレースは他にない、というような感想も多く聞かれました。※島に渡るころから「ウルトラ」は始まっていたようです。

冷たい雨と強風に送り出され いよいよウルトラマラソンスタート

10月23日(日)早朝、いよいよレース当日を迎えました。しかし、前日から続く冷たい雨と風は止まず、スタート地点のビューポイントホテル前に集まったランナー達は防水、防寒装備をしっかりと履き込みます。午前5時、町長の号砲を合図に100km

ウルトラマラソンとは?

一般的に距離ではフルマラソンの2倍(約80km)を超えるもの、時間では6時間を超えるものをウルトラマラソンと呼ぶようです。国際陸上競技連盟(IAAF)では100kmをウルトラマラソンの標準としています。日本最大級の大会は、今年20回を迎えた北海道サロマ湖の100kmウルトラマラソンで、2000人以上が参加します。参加年齢層は40~50代が最も多く、多くのランナーが記録よりも完走を目標としてチャレンジします。



多くの声援に迎えられ感動のゴールイン



久見トンネル付近

五箇 一直線に連なるランナー

さざえ村前
めかぶのみそ汁をすす

岬 青い海を眼下にラストスパート

釜屋海岸沿い

唐尾トンネル前
ここがふんばり所

別だったようです。

さざえ村を過ぎると、レース前半の山場久見まで続く高低差250mのレース中最も厳しい峠に入ります。山道が続くため、体力的にも精神的にも大変な区間となりました。

峠を越えると久見からしばらくは平地が続き、生涯学習センターで一休み。給食は隠岐そば、おにぎり、カレーなど。しっかりと体力を充電します。

後半の山場は長尾田く都万間 3つの峠がランナーの体力を奪う

雨も完全に上がった11時30分、50kmコースのランナー115人が水産酢神社からスタート、100kmコースの選手と合流します。

のどかな五箇の田園地帯を突っ切り、ランナーの列は福浦へ。福浦湾を右手に見ながら、手掘りの旧福浦トンネルをくぐります。100kmコースのランナーもしばらく平坦な道が続いたためか、景色を楽しむ余裕が見えました。

が、その余裕もここまで。福浦を過ぎると長尾田く油井く那久く都万という100mを越える峠が3つ連なり、ランナーから容赦なく気力・体力を奪っていきます。

100kmコースの先頭がゴールイン 午後は晴れ、絶好のコンディションに

50kmコースの選手がスタートして約1時間後、早くも100kmコースの先頭ランナーがゴールインしました。優勝タイムは7時間25分18秒。

その頃には太陽も顔を出し、絶好のコンデ

イションとなりました。3つの峠を越えたランナーは都万支所前の給食所で一休み。疲れた体に甘いぜんざいが好評で、おかわりする人が何人も。

都万支所からしばらくは比較的平坦な道を進み、唐尾トンネルを抜けると大漁旗を手にした加茂応援団の大声援に迎えられ、今津く岬を抜ける最後の難関へ向かいます。今津の長い上り坂は、底をつきかけた体力を更にしぼり取るような難所。多くのランナーが「一番きつかった」と答えるほどでした。

西郷大橋を渡って感動のゴールへ 島民一丸となって支えたドラマ

ゴールのレインボーアリーナでは大勢の住民・スタッフが声援を送る中、全国屈指の厳しさと言われるコースを走りきったランナー達は、喜びをかみしめながらゴールしていききました。

レース後行われた後夜祭では、隠岐の山海の味覚を楽しみ、しげさ節の音色に思わず踊り出しながら、ランナーはその日の健闘を称えあっていました。

この日、100kmを完走したのは357人中302人で、実に85%の完走率でした。ウルトラマラソンの平均は約80%といわれていますので、コースの難しさを考えれば予想外の高さです。ランナーの声を聞くと、どの集落にもあった温かい声援、また各給水所での対応のよさに救われたという声が非常に多く、これは島が一つになって成し遂げた結果の一つだといえるでしょう。

ウルトラ終わって 日が暮れて

非常に多くの人に関わり、力を尽したウルトラマラソン。人の数だけドラマが生まれました。レース前の交流やランナーの声など、別の角度から見たウルトラマラソンをご紹介します。



●手製の垂れ幕でランナーを応援する姿は、至るところで目にすることができました。

子供たちと ランナーの交流

ウルトラマラソンのレース前、全ランナーに向けて町内の小学生888人が応援の手紙を書きました。ランナーから届いたお礼の手紙の一部を掲載します。

●ウルトラマラソン応援のお手紙ありがとうございました。

今回は、100km走ることを目指していますが、いつもすごいトレイニングをしているというわけではなく、42歳の自分への挑戦だと思って走ります。(ゼッケン1086で走っていますので、もし見かけたら応援してください。)

Yさんも好きなこととか、やりたいこととかたくさんあると思います。何事も自分らしくがんばってください！

(ランナーKさん 広島市在住)

●「雨、風の中、応援ありがとうございます。Tちゃんのおうえんのおかげで、さいごまでがんばることができました。メッセージどおり、おじさんの部で2位になることができました。隠岐は空気もおいしいし、景色も最高。人の気持ちも最高です。Tちゃんも遊びに、勉強にがんばってくださいね。心で応援しています。」

(ランナーHさん)

●Mさん、応援のお手紙ありがとうございました！「さいごまで走ってください。100kmをさいごまで一生けんめい走り切ってください。」とMさんがはげましてくれたので、がんばれるとおもいます。大久小學校のある大久は、きつとまだ明るくなりかけた頃、通りますが、よくみて走ります。私は診療所の看護師をしています。Mさんとはずいぶん年がはなれていますが、元気で100km走りますね。あなたの手紙をバック



●子供たちの笑顔は、ランナーにとって何よりの力です

ランナーの声

レース後、たくさんの方々のランナーの方々の感想のお便りをいただきました。

ございました。来年も盛大に大会が開催され、隠岐の島がより発展されることを願っております。

(ランナーYさん)



●最後まで大会をささえたボランティアの皆さん

●隠岐の島町の皆様に声援を頂き、ウルトラマラソン100kmを完走でき、嬉しく思います。

島の皆様が、この大会をつくりあげているという情熱がひしひしと伝わり感動しました。

今大会では「西郷小學校6年のU君」の激励文を胸に秘め、隠岐の島を走りぬきました。

その感謝と、今後の子供たちの活躍を願いゴールで頂いた「メダル」を彼に差し上げたいと同封します。

今後も、ウルトラマラソンが開催される大会に発展することを願っています。

(ランナーKさん)

●なによりも感じ入ったことは島の方々の暖かい声援です。私はランニング歴36年、これまでたくさんの方々の市民マラソン大会に出ましたが、こんなに応援のみなさんの「気持ち」を感じたことはありません。感動しました。人情を感じました。

(ランナーMさん)



●どこへ行っても応援には熱が入っていました

●このたびは隠岐の島ウルトラマラソンを走らせていただき、全島挙げての歓迎が大変うれしくお礼を申し上げます。午前5時のスタートでは、真っ暗な中を沿道で信じられないほどたくさんの方が手を振ってくださいました。給水所、給食所、コース案内などをしてくださった皆さんは、風も強く寒い中で本当に大変だったと思います。集落、集落でも、ポツリポツリしか来ないラ



●後夜祭では、隠岐の味覚に舌鼓を打ち、その日のレースを振り返りました

ランナーをずっと待っていてくださる応援の方たちがうれしく、僕も精一杯手を振って伝えましたが、ひとりひとりお礼を言って回りたい気持ちです。想像以上に厳しいコースでしたが、応援に力を得て100キロを無事走りきることができました。大変満足しています。来年で降どうなるか、という話がありましたが、どうか毎年でなくとも隠岐島を走れるようご配慮願えればと思います。

(ランナーTさん)



●私設給水所を作って応援する人も

●先日ウルトラマラソンに参加させて頂いた者です。一人ですが、皆様にお礼を言いたくお手紙させてくださいました。

◎スタート地点の給水所の女性の明るい笑顔

◎焚き火を燃やしての演出(寒かった



●中・高生もボランティアでがんばりました

とにかく皆さんの笑顔が素敵でした。まだまだ足りないとは思いますが、得に感じた事を箇条書きにさせていただきます。

私はスタッフ、ボランティア、応援の人々にお礼を言いたく、本当にご苦勞様、お疲れ様、そしてありがとうございました。

初めての試みだった隠岐の島ウルトラマラソン大会は、子供からお年寄りまで一体となって取り組み、誰もが力をあわせてまちづくりにという、合併1周年記念にふさわしいイベントとなりました。

紙面の都合上、ランナーの感想は一部しか掲載できませんでしたが、ほとんどのランナーがすばらしい大会だったと評しています。中には厳しい意見もありましたが、全体として高い評価を受けました。

すべては約1000人に及ぶボランティアスタッフの頑張りと、雨湿じりの冷たい風が吹く早朝から夜まで、コース上いたるところで沿道に立てて応援してくださった町民の方々のおかげです。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

秋の文化祭レポート

今年も町内各地で文化祭が行われました。芸術の秋、食欲の秋を満喫する文化祭の様子をお伝えします。

7月30日 都万地区文化祭、仁万の里 里祭り



●子供たちも大喜びのお菓子投げ



●原田保育所園児の太鼓演奏



●中学部の秋まつり屋台

10月30日(日)には、都万中学校体育館と仁万の里で、都万地区文化祭と仁万の里 里祭りが行われました。午前10時のスタートとともに人が増え始め、昼前には出店も売り切れが目立つように。心配された天気も、午後3時の終了までは何とかもったようです。(詳しくは17P)

7月3日 岬ふれあいまつり

11月3日(木)の文化の日には、岬町のみんなの作業所で、岬ふれあいまつりが開催されました。模擬店や即売コーナー、輪投げ・ヨーヨー

などのイベントがあり、晴天にも恵まれて非常に多くの来場者がありました。午後からはお菓子投げが行われ、集まった皆さんの子供たちは、歓声を上げて投げられたお菓子を追いかけていました。

6日は残念ながら雨模様となりましたが、2日間とも日頃の公民館活動の成果となる数多くの作品に、訪れた人は感心した様子で見入っていました。



●水産高校生徒もボランティアで参加

海洋ゴミ問題を地球環境問題として考える

美しい海に囲まれた隠岐。しかし、ひとたび海岸へ足を延ばしてみると、漂着したゴミの多さに驚きます。

そんな海のゴミ問題を地球環境問題のひとつとしてとらえ、その改善・解決をめざす「島ゴミサミットおき会議」が11月3日(木)から3日間、隠岐島文化会館を主会場に開催されました。

主催したのは、J.E.A.N(クリーンアップ全国事務局)と隠岐自然倶楽部。環境保全活動に取り組むNGOや、国(環境省、国土交通省、水産庁)、市町村関係者、住民など合わせて約200人が参加し、それぞれが実践している活動・研究の発表を通して漂着ゴミ対策について



の熱心な議論が行われました。隠岐郡内の自治体の報告では、「漂着ゴミの回収は地域住民のボランティアに委ねている現状だが、自然環境の保全のみならず観光産業や漁業振興の観点からも清掃活動の構築についての検討が急務。しかし、海外からの漂着ゴミも多い離島では、その処分費用の支出のために小規模自治体の財政状況では対応に限界がある。国土の環境保全の観点から、国・諸機関の支援を希望したい。」などと要望が出されました。

また、隠岐水産高校のボランティア部の発表では、「調査をとおして知った自分たちの島の現状は驚きだった。世界の海が陸上生活で生じた廃棄物の最終処分場のようになり、大きな社会問題となっていることもわかった。日頃の乗船演習では「海洋をよこすな、捨てるな」を実践しているが、このかけがえのない海を「守る」ことをモットーに加え、海への思いやりをもって取り組んでいきたい」と調査結果の報告に合わせ決意が述べられました。他にも世界遺産に登録された北海道羅臼町や韓国からの参加者から、多くの参考になる事例が報告されました。

全体会では、「海洋ゴミ対策の「かたち」を考える」をテーマに、参加者全員での熱心な議論が行われ、最後に、この会議を総括して会議アピール文(メッセージ)が採択されました(※開会参照)。また、開催地を代表して風待ち海道俱

楽部と隠岐水産高校による宣言文も発表されました。

この会議を主催した隠岐自然倶楽部の事務局を務める八幡浩一さんは、「隠岐の自然は、北方系と南方系の生物が生息するなど非常に豊かで、世界にも誇れるものがあります。隠岐自然倶楽部では、そういった隠岐の生物を調査・研究していますが、調べる程にこの貴重な自然を絶対に守らなければいけないという気持ちが強まります。今回の会議では、関係省庁の方から離島の漂着ゴミ対策について、政策面で建設的な意見が出たことで開催した意味があったと思います。また、国内外から自然の好きな人たちが集まり交流を図れたことも大きな収穫です。このネットワークを大切に互いに連携を図ることが、政策を動かす原動力になっ

島ゴミサミット・おき会議からのメッセージ(要旨)

私たちの目に触れる「海岸」に漂着したゴミ、それは海岸ゴミのほんの一端です。自らの地域に起因しない漂着ゴミの処理については、特定の地域の負担が増している現状があります。一方、多種多様な海洋ゴミが与える海洋生物、生態系への影響等が深刻かつ表面化していく中、「地球環境問題としての海洋ゴミ」との認識がだいに広がりつつ深まりつつあります。

今回の「島ゴミサミット・おき会議」を通して、日本海に浮かぶ隠岐の島々の海岸にも、国境や行政区画を越えたゴミの漂着は増大しており、国を越えた取り組みが急務であることを改めて認識しました。

当会議参加者は、今後の国連環境計画、北西太平洋地域海行動計画において討議されていくプロセスにおいて日本及び関係各国における多様な主体が具体的に関われる「しくみ」を併設、確立されることを切望すると共に、各々の主体が互いに連携しながら海洋環境の保護と保全に努力を重ねていくこと、そして日本国内においては、「海洋ゴミ問題に対応するためのプラットフォーム」を、国連海洋法条約批准10年の節目にあたる2006年の構築を目指していくことを、ここに表明します。

2005年11月4日

「島ゴミサミット・おき会議」参加者有志



●最終日の11月5日には約120人が参加し、長尾田海岸で漂着ゴミクリーン作戦が行われました。

ていくのではないのでしょうか。」と語っておられました。

環境アンケート調査結果を發表します

第2回・一般家庭のごみについて

先日町民の皆様にご協力いただきました。ごみ・し尿に関するアンケートの調査結果を發表します。ごみに関するアンケートは、住民を対象とした「住民アンケート」、事業所を対象とした「事業所アンケート」及び食品リサイクル法関連事業者を対象とした「食品廃棄物アンケート」により実施しました。今回は「住民アンケート」の調査結果を發表します。

1. 調査の目的

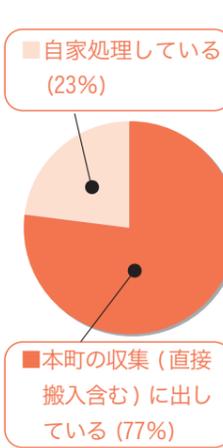
平成17年3月に策定した「隠岐の島町一般廃棄物処理基本計画」に基づき、実施について検討課題とした項目について調査することにより、住民・事業者・行政が一体となって「循環型社会の形成」を目指す、今後の実施計画策定の基礎資料とする。

・主な検討課題

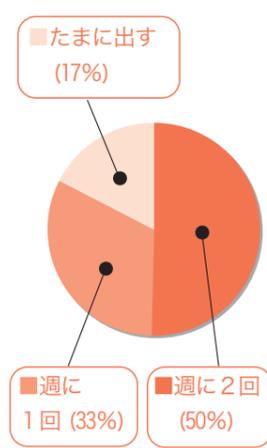
- ①町の生ごみ自家処理促進対策
 - ②「プラスチック製容器包装類」分別収集の実施
 - ③高齢化等に対応した粗大ごみの収集方法見直し
 - ④減量化等自主的取組を促進する意識啓発事業の展開
2. 調査対象者
本町在住の20歳以上80歳未満の男女1,000人（無作為抽出）

3. 回収結果

住民アンケート：487名（西郷328人・布施21人・五箇71人・都方67人）



1. あなたの家庭では、生ごみを現在どのように処理されていますか。



2. あなたの家庭では、本町の収集（直接搬入含む）に「生ごみ」を週に何回くらい出されていますか。

3. 家庭から出る「生ごみ」のほとんどが、「可燃ごみ」として処理されています。調査の結果、「可燃ごみ」の中に生ごみ（ちゅう芥類）が含まれている割合は、18.5%と2割近くも含まれていることがわかりました。コンポストや電動式生

ごみ処理機は、ごみの減量化につながると思いますか。

減量になる	77%
減量にならない	4%
わからない	19%

4. コンポストや電動式生ごみ処理機を購入する予定がありますか。

購入する	53%
購入しない	39%
わからない	8%

5. あなたの家庭では、現在「生ごみ」を自家処理されているとのことですが、こういった方法で行っていますか。

ごみの減量化に少しでも寄与したいので、購入する	50%
ごみの減量化につながるので、購入したいが、高価なため購入できない	39%
購入しない	8%

6. コンポストにより自家処理している（50%）電動式生ごみ処理機により自家処理している（13%）その他（37%）

6-1. あなたは、プラスチック製容器包装類（ラーメンのカップ類、シャンプーのボトル等）の分別に協力できますか。

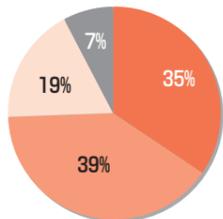
協力できる	65%
協力できないが努力はする	34%
協力できない	1%

6-2. あなたは、紙製容器包装類（紙袋、お菓子の箱等）の分別に協力できますか。

協力できる	56%
協力できないが努力はする	40%
協力できない	4%

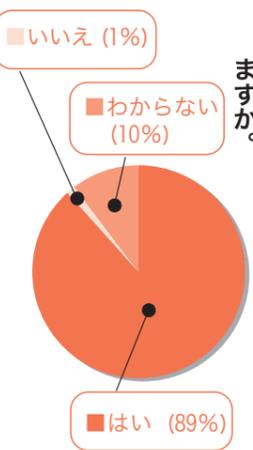
7. 現在、本町の粗大ごみ収集は、住民の皆様にごみ集積場所へ搬出していただいで、収集しております。現在の粗大ごみの収集方法について、不便と感じることはありませんか。

協力できる	56%
自信はないが努力はする	40%
協力できない	4%



8. ごみのリサイクルは有意義とご思いますか。

はい	89%
いいえ	1%
わからない	10%

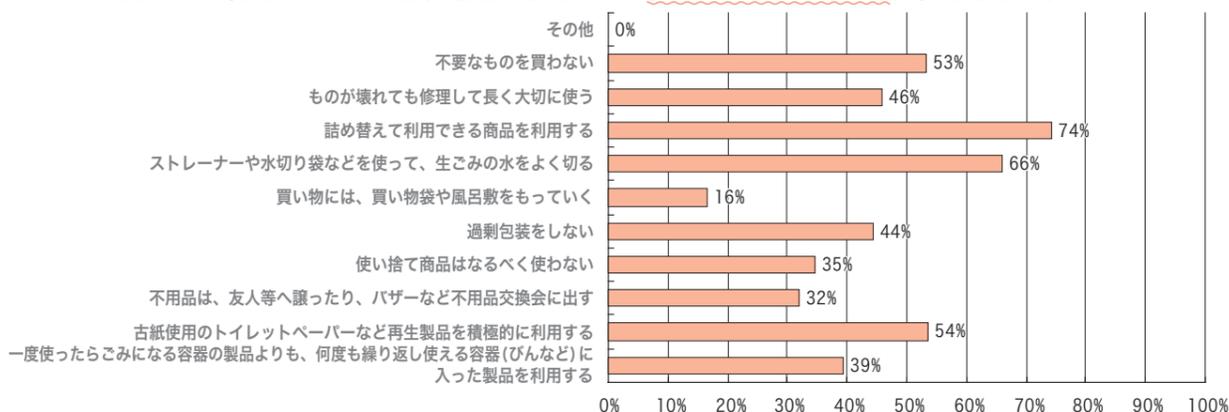


9. 本町においては、ごみ発生量が一人一日あたり約1,000g程度で続いています。平成14年度における本町の一人一日平均排出量は、島根県平均排出量より約26%程度多くなっています。本町のごみ処理に要する経費は、年々増加傾向を示しており、平成14年度では約3億3千万円、平成11年度の1.28倍となりました。ごみ1t当たりの処理経費は40万9千円となり、島根県平均と比較すると約21%程度高くなっています。あなたは、ごみの減量化は必要なことだと思いますか。

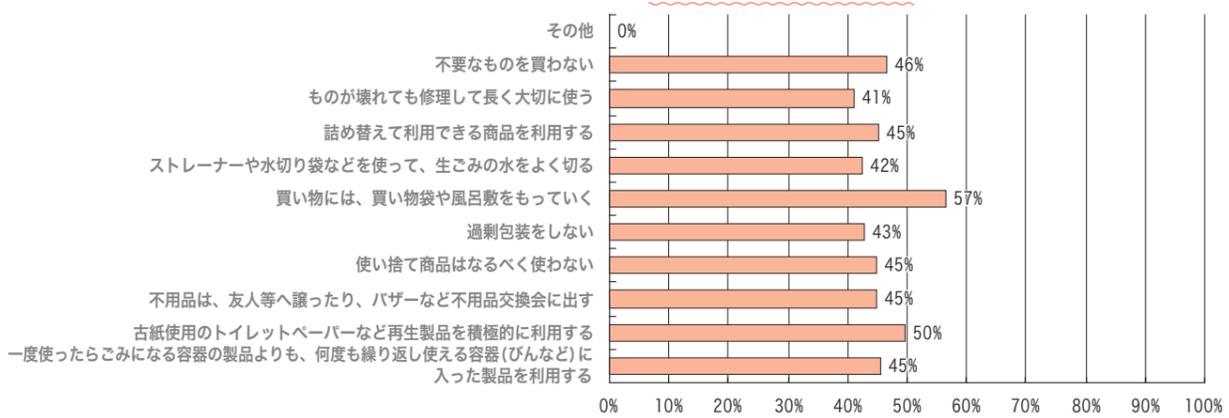
10. ごみのリサイクルの促進、ごみの減量化への取り組みのためには、地域ぐるみの協力が不可欠ですが、あなたの住まれている地区のごみ問題への関心は高いですか。

非常に関心が高い	7%
関心が高い	46%
あまり関心がない	47%
関心がない	0%

11. 資源の有効利用やごみの減量化を進めるために、現在実践していることは何だと思えますか。



12. 資源の有効利用やごみの減量化を進めるために、これから実践したいことは何だと思えますか。



第2回下水道講座

西郷地区公共下水道事業

西郷地区の公共下水道事業は、隠岐の島町の約6割の人口が集中する旧西郷町市街地と八尾川沿線そして西郷湾周辺の集落の下水道を整備する事業で、下図の区域の生活排水を、下水道管にて、下西田井地区に建設する一つの処理場集め処理するものです。

前回、下水道の仕組みや、隠岐の島町の下水道事業のあらましを説明させていただきました。今回は、隠岐の島町の下水道事業の中心となる西郷地区の公共下水道事業と、それを補完する浄化槽設置整備事業について説明させていただきます。

この施設の概要は、表①の通りです。下水道管は、処理場を中心に枝葉のように整備されていきます。概ね表②に示す区域の順で整備を進めていく考えですが、今後の調査・設計の結果等により、変わることもあります。

全区域の下水道管が整備されるまでには、いたる所で道路を掘り返すなど、日常生活に支障をきたしますので、年間10ヘクタール程度の整備しかできず、事業期間が約25年かかる長い事業となります。

下水道の整備は、後世にきれいな水環境を残すために、今私たちが取り組まなくてはならない大切な事業です。また、みなさまの加入がなければ下水道の効果を発揮することはできません。表②を参考に、個々の家屋の水洗化の計画について考えていただけたらと思います。

表① 事業概要

処理区面積	247ha
計画処理人口	10,500人
日最大処理汚水量	5,760t
概算事業費	約120億円
事業期間	H16～H42予定
供用開始予定年月日	H22.4.1
計画放流水質(BOD)	15mg/L
計画放流水質(SS)	30mg/L

公共下水道処理区域図



尚、西郷処理区周辺の津井、西田の一部、近石、真杉、皆市地区等については、町が浄化槽を各家屋に設置する浄化槽市町村整備推進事業にて整備する考えです。詳しくは次号にて説明させていただきます。

表② 下水道整備予定年度

年度	地区
H16～H22	下西、八田、田井、名田、月無、役場周辺、西町の一部(文化会館周辺)
H23～H29	栄町、有木、平
H30～H36	栄町の一部、西町の一部、中町、東郷の一部(小田)、西田、原田の一部(銚子川以南)、池田
H37～H42	港町、東町、東郷、飯田、原田

浄化槽設置整備事業

西郷地区公共下水道の整備には約25年の長い年月がかかります。

そこで、水環境保全を目的として、西郷地区を含む集合処理区内において浄化槽設置整備事業を行います。

(1) 概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、集合処理区内で下水道を利用するのに相当年かかる家屋で、個人が単独浄化槽及び汲み取りから合併浄化槽に改造する場合に、費用の一部を町が補助する事業です。

(2) 交付条件

- ① 個人の居住用家屋であること。
- ② 単独浄化槽・汲み取りから合併浄化槽への改造であること。
- ③ 新築家屋への浄化槽設置は対象外です。
- ④ 下水道事業予定区域内であって、概ね7年後までに供用がされない家屋であること。

この条件を満足しても、次のいずれかに該当する方に対しては、補助金を交付しません。

- ① 浄化槽設置届の審査等を受けずに、浄化槽を設置する場合。
- ② 住宅等を借りている方で、賃貸人

- ③ 公共用水域までの放流経路が明確でない場合。
- ④ 下水道利用が可能になってから3年以内に下水道への接続を約束できない場合。

(3) 補助金額

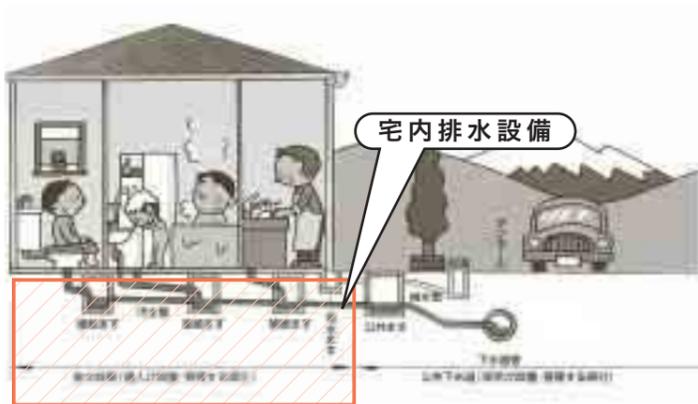
補助金の額は、浄化槽の設置に要する費用(トイレの改造・宅内の排水設備工事・処理水放流の為の管渠に要する費用は含まない)の範囲内とし、左表に定める額を限度として交付します。

経費	人槽	限度額
浄化槽の設置及び設置に伴う必要最低限の付帯工事費	5人槽	354,000円
	7人槽	411,000円
	10人槽	519,000円

(4) 宅内排水設備工事について

下水道を利用することができるようになった時は、速やかに下水道に接続していただくことから、宅内排水設備工事は、公共下水道及び集落排水と同

(5) 補助金交付のながれ



① 交付申請
事業を実施したい年度の、前年度12月までに交付申請書にて町長に申請して下さい。

② 交付決定
申請書を審査し、補助金を交付するかどうか、申請者に通知します。

③ 浄化槽設置工事の実施
排水設備工事の申請及び実施も適正に行ってください。

④ 事業の実施報告
設置工事完了後、1ヶ月以内に実績報告書を町に提出して下さい。

⑤ 補助金の交付
実績報告書を審査し、申請通り適正に事業が実施されていれば、補助金を交付します。

問い合わせ等

今回は、市町村設置型の浄化槽事業、下水道使用料等についてお話しする予定です。今回の講座での御質問・御感想、また、次回こんな話をしたいという御要望等がありましたら、下記までご連絡下さい。

隠岐の島町役場 下水道課

TEL: 2-8576

FAX: 2-6630

E-mail: gesui@town.okinoshima.shimane.jp

西郷地域家庭教育講座 開講中!!

西郷公民館では、今年度特に家庭教育学習の推進に努めているところです。

西郷地域内の各機関（学校・保育所・役場・公民館等）15団体が連携して初めて協議会を立ち上げ、それぞれに子育てに係る講座を開催しています。このことは、広域的な社会教育及び学校・保育現場のネットワークづくりのスタートでも有ります。

妊娠期子育て講座・就学時健診の機会を活用した子育て講座・思春期子育て講座・食育講座などの内容に取り組んでいます。

今後、地域内の関係者及び関係機関の積極的な協力・主体的な参加が広がり連携をより強化し、身近な地域で日常的に子育てに関する情報提供や相談、支援活動の体制が出来よう進めていきたいと考えています。



▲西郷中学校家庭教育講座 (PTA研修会)

開催日時：平成17年10月21日
 テーマ：「思春期の子どもとの関わり方」
 会場：隠岐島文化会館
 講師：松尾 翼さん（岡山中央児童相談所）



▲磯地域3保育所合同家庭教育講座

開催日時：平成17年7月1日
 テーマ：「いま、家庭に届けたいもの」
 会場：下西集会所
 講師：肥後 功一さん（島根大学教授）



▲隠岐の島町役場健康福祉課家庭教育講座

開催日時：平成17年7月24日
 テーマ：「妊娠中を安全に楽しく過ごすために」
 会場：隠岐の島町役場ふれあいセンター
 講師：北野 淑恵さん（愛宕会管理栄養士）
 金岡 千幸さん（在宅歯科衛生士）



▲西郷公民館家庭教育講座

開催日時：平成17年9月17日
 テーマ：「人間になれない子どもたち」
 ～「メディア漬け」と子どもの危機～
 会場：隠岐島文化会館
 講師：清川 輝基さん（子どもメディア代表理事）

親子で絵本の楽しさを
図書館は親子読書をすすめています

隠岐の島町図書館では、家族の方が、子どもに家庭で絵本を読み聞かせる親子読書をおすすめしています。図書館の事業としては毎週火曜日午前10時30分から0歳から3歳までのお子様を対象としたはじめての絵本を行っております。

また毎週土曜日午後3時からはおはなしのへやボランティアの方々による絵本の読み聞かせがあります。いずれも親子で気軽に来て楽しめるものです。小さなお子様をお持ちのお母さん方にはぜひ参加していただきたいと思っております。
**肌のぬくもりを通して
心のふれあいを**

ひざにだっこされて絵本を読んでもらうとき、子どもは肌のふれあいを感じながら、お話をしてくれる人のぬくもりを全身で受けとめ、しあわせを感じるのです。
言葉を通してイメージを描く楽しさを知ってね

3才から小学校低学年までの発達期に、どんな言葉に出会ったか、どれだけお話を楽しんだかということが、其の人の感受性に大きな影響を与えると考えられています。

言葉の世界との出会いを大切に

絵本に描かれている絵は、物語の世界を子どもの心にひきよせ、広げてくれます。絵を見ながら言葉をつないでいくことで、子どもの中にお話のイメージが芽生えます。この積み重ねによって、絵で描かれていないところまでイメージをひろげ、物語の世界で自由にあそぶことができるのです。

この楽しさを十分に味わうことで、子どもの中に物語という目に見えない世界をいきいきと描き出す「想像力」が育っていきます。

佐藤涼子先生のおはなし会がありました。

このたび、全日本語ネットワーク運営委員長の佐藤涼子氏をお迎えし、2日間にあわせた読書に関する講演会や小学校でのおはなし会がありました。講演会には、ボランティアの方や小学校の先生方約30人が参加され、佐藤涼子先生から学年に応じた本の選び方などについてのおはなしがありました。



●五箇小学校にて

また、小学校では、ストーリーテリング（語り）を中心としたおはなし会があり、子供達はつきからつきへと展開するお話に、息つく暇もない様子で聞き入っていました。

高梨テル・時空展 開催

隠岐の島町公民館の文化祭に合わせて、このたび隠岐の島町立図書館研修室で、高梨テル時空展を開催しました。これは、町内で長年、絵画活動を続けている画家高梨テルさんの最近作約20点を展示した絵画展です。高梨テルさんはご高齢にもかかわらず、現在も精力的に画家活動をおこなわれています。



●時空展の様子

展示会当日はおかげさまでたくさんの来場者がありました。開催するにあたってご協力いただいたボランティアの方々に厚く御礼申し上げます。

図書館だより
 隠岐の島町立図書館
 電話 08512-2-2341
 FAX 08512-2-9198
 s-tosho@mx.miracle.ne.jp
 ●開館時間10時～18時
 ※最終金曜日は14時開館
 ●閉館日（月曜日・第3日曜日・祝日）
 ※祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

五箇地区で相撲 大会開かれる

島根県では教育委員会制度が発足した日の、11月1日を「しまね教育の日」、この一週間を「しまね教育ウィーク」と制定しています。

～しまね教育の日～

これは、未来を託す子どもたちの教育を、家庭・地域・学校・行政が手を携えて推進する事をねらいとして定められ、隠岐の島町内でも様々な取り組みが行われました。(次のとおり実施されました。)

- 西郷小学校 まごころ参観日
- 飯田小学校 授業公開
- 学校保健推進協議会
- 有木小学校 親子ふれあい祭り
- 今津小学校 収穫祭
- 五箇小学校 五箇地区相撲大会
- 親子餅つき大会
- 都万小学校 都万環境デー
- 那久小学校 都万環境デー
- 中村中学校 親子ふれあい活動
- 五箇中学校 1日学校公開日
- 都万中学校 都万環境デー
- 西郷公民館 西郷公民館文化祭

五箇地区相撲大会に参加した五箇小・中学校の児童生徒は、約一週間の「地取り」を各地元で行い、伝統行事と、地域の人のふれあいに接する事が出来ました。



隠岐の島町教育委員会
TEL 08512-2-2206
Mail Okidogo@mx.miracle.ne.jp

特別な支援が必要な 子どもの総合支援事業

隠岐の島町 あったかスクラム事業

地域において、子どもたちが生き生きとした生活を送ることができるよう、休日や長期休業中に様々な体験活動が開催されるようになりました。

しかしながら、特別な支援を必要とする子どもたちにとっては参加へのサポート体制が十分に整っているとはいえず、様々な体験活動等への参加が困難な状況にあります。

そこで、隠岐の島町では「隠岐の島町ふるさとあったかスクラム実行委員会」を組織し、体験活動モデル事業と、活動を支えるサポーターの養成講座(5回シリーズ)を実施することになりました。

サポーター養成講座の第1回講義が10月15日に開催されました。講義は、常角敏氏が「わが子と生きてきて」、斎賀幸子氏が「ハンドィのあ



磯小学校(仮称)校舎建設工事の安全祈願祭が開催されました

去る9月16日(金)午前11時から磯地区統合小学校建設現場において、校舎建設工事の安全祈願祭が開催されました。同小学校校舎は、下西小学校と今津小学校の統合小学校として下西地区の旧磯中跡地に、鉄筋コンクリート造2階建て、延べ床面積2,332㎡、総契約金額5億5,944万円を投じて建設されます。安全祈願祭には、町、議会、工事関係者を始め、地区の代表者や学校関係者ら25人が出席し、松田町長が鍬入れを行ない、出席者全員で工事が安全に進むよう祈願しました。工事の進捗状況をホームページでお知らせしています。

<http://www.town.okinoshima.shiman>

●工事安全祈願祭(松田町長の鍬入れ)



●熱心に受講する皆さん

「子どもの理解について」と題して行い、熱い語りを受講生も熱心に耳を傾けていました。本事業は、まだ、始まったばかりですが、事業を推進しながら支援体制を整備し、地域づくりにつなげていきたいと考えています。

第18回全国スポーツ・レクリエーション祭 ～スポレク岩手2005～



●隠岐の島町からの出場選手

フォークダンスに本町から4名出場!

10月1日～4日まで、岩手県を会場に全国スポレク祭が華やかに開催されました。本町から4人の選手が島根県代表として、フォークダンス競技に出場しました。全国のみなさんと交流を深めると共に、特別賞を受賞されました。おめでとうございます。

お知らせ

隠岐の島町総合体育館で行われる行事

12/4(日)郵便局長杯バレーボール大会 2/14(水)隠岐水産高等学校球技大会

12/11(日)西郷地区スポンジテニス大会 1/8(日)西郷地区体協杯バスケットボール大会

隠岐の島町運動公園

※ ナイター設備は、11月～翌3月末日まで使用できませんのでご了承ください。

給食は原因でなく、 原因物質は不明

都万地区で児童などに腹痛や下痢の集団発生

都万小学校から複数の児童・生徒及び教員が腹痛や下痢の症状を訴えていると10月6日に報告があり、都万地区の学校を調査した結果、都万小学校児童21人、教員2人、都万中学校生徒5人に腹痛、下痢などの症状があり隠岐保健所へ連絡しました。

保健所は食中毒及び感染症の両面から都万地区の小学校、中学校、給食センターの調査を行いました。

調査の結果、給食センターの給食が原因ではありませんでした。原因については食中毒や感染症の原因となる物質を特定できず、不明とのことであります。

学校給食については7日から業務を自粛しましたが12日から給食を再開致しました。

町民の皆様には大変、御心配をおかけ致しました。このような事態を減らすために、学校においても、手洗い・うがいなどについて一層気をつけてまいります。

「隠岐の島でもおきている!」

全国で子どもをねらった凶悪な事件が頻繁に新聞、テレビ等で報じられています。しかし、決して他人事ではないのです。隠岐の島町内においても数件の「声かけ」事案が発生しています。「名前は?」「家の電話番号は?」「〇〇をあげるからおいで」などと女子児童に声をかけたものです。幸い児童が逃げたりして大きな事件にはなっていませんが、家庭、地域においても気をつけて子どもの安全を見守りましょう。

《学校はもちろん、家庭でも次のことを繰り返し教えましょう。》

- 知らない人についていかない。
- 知らない人の車に乗らない。
- 知らない人から声かけがあったら、大きな声で「助けて!」と叫んで、助けを求めましょう。

五箇地区 五箇地区あげての 体育大会



10月9日(日)、五箇中学校校庭で五箇地区体育大会が開催されました。見事な秋晴れで、絶好の運動会日和となり、各地区の選手・応援とも喜んでいました。前日から準備をした体協幹事・地区の代議員ともに「ホッ」としたことでしよう。

昨年は、天候不良により残念ながら中止だったので、二年振りの運動会とあり、子供から大人まで、競技を楽しんでいました。

熱戦を繰り広げ、また、応援にも熱が入っていました。

前回優勝の北方チームは2連覇目指して一致団結頑張りました。しかし、残念ながら僅差で2位。

今回は、山田・久見・向ヶ丘・代の連合チームが優勝しました。

競技終了後、みんなで片づけをして各地区反省会。長く楽しい一日が終わりました。

みなさんお疲れ様でした。



●中学生や一般の方が、多数ボランティアとして参加しました。

10月30日(日)に、都万中学校体育館で都万地区文化祭が、仁万の里では仁万の里 里まつりが開催され、島内各所から訪れたたくさんの方で賑わいました。

文化祭では、分館活動の展示、保育所・小中学校の活動展示、食生活推進協議会の試食コーナー、血圧測定、人権習字・作文の展示などが行われました。

里まつりでは、模擬店や都万産直市の開催、プロや地元の方々による演芸大会、子ども向けのゲームコーナー、茶席、陶芸、木工体験などが行われました。

どちらも地域の皆さんの協力により成り立っており、都万の秋には欠かせないイベントとなっています。

今後とも地域住民が主体のイベントとして、長く続いてほしいと思います。



●都万中体育館で行われた文化祭

都万地区 都万地区文化祭・仁万の里 里まつり開催!

中地区 武良“とって隠岐” の祭り料理



●地元の食材を使って調理する婦人グループ

武良祭りが間近に迫った10月13日(木)、中村地区に伝わる昔ながらの料理を楽しむ会が、酒販組合青年部によって老人センターの大集会室で開催されました。参加者は島外からの単身赴任や地元住民50人で、一足はやく武良の祭り料理を堪能しました。

料理は中村特産センターの婦人5人が2日間かけて仕込み、中村特産のアゴダシをふんだんに使ったうどん、ゴンベの海苔巻きご飯、シイラと白イカの刺身、蒸しサザエ、ウミウシ(ベッコ)のみそあえ、アケビ、栗、銀杏、クルミなど、今が旬の海の幸、山の幸にこだわった料理がテーブルを埋め尽くしました。

地域のおばさん達が作る料理は、昔から伝わった武良の食文化を継承していて、懐かしさに誘われて何とも言えないほのほとした安心感のある味わいであり大変好評でした。

各家庭に伝わる素朴な隠岐ならではの料理は、地域の究極の資源であり、近い将来、観光客をもてなす「とっておきの料理」になっていくと信じています。



●武良の祭り料理に舌づつみ



●たくさん入りましたよ!

10月25日(火)、高齢者生活福祉センター蓬萊苑で運動会が行われました。

今回は居住入居者、デイサービス通所者、身体障害者の会の合同による開催で、総勢40人の参加のもと、赤組・白組に分かれ、競技を繰り広げました。

普段デイサービス等で体を動かしている方も、運動会となると勝手が違います。



●ストライク目指して

最初は遠慮がちだった参加者も、玉入れ、パン食い競争、ボーリングと競技が進むにつれ、自分のチームの勝利にこだわり、真剣に、また、むきになって(?!)、競技に参加していました。

高齢者の真剣な顔、楽しそうな笑顔、笑い声に、私たちも心がなごみました。

参加者の皆さんが、今後とも健康でありますように。選手の皆さん、スタッフの皆さん、おつかれさまでした。

布施地区 温かい雰囲気の中で

ボランティア情報



日頃のボランティア活動に対して、表彰・感謝状を受けた団体を紹介します

ボランティア表彰・感謝状

酒井歯科医院

酒井歯科医院はボランティア活動として、西郷小学校において毎月18日を『いい歯の日』と定め、1学年ずつ給食後、ブラッシング指導を8年間継続してこられました。この功績に対し、島根県総合社会福祉大会において島根県社会福祉協議会会長から感謝状を受けられました。

グループ 和 (なごみ)

昭和61年より、隠岐共生学園老人ホームへ毎月4~5回訪問して、ボランティア活動を行ってきました。20年間活動してこられた功績に対し、隠岐地区社協会長表彰を受けられました。



グループ「和」の皆様 (順不同・敬称略)

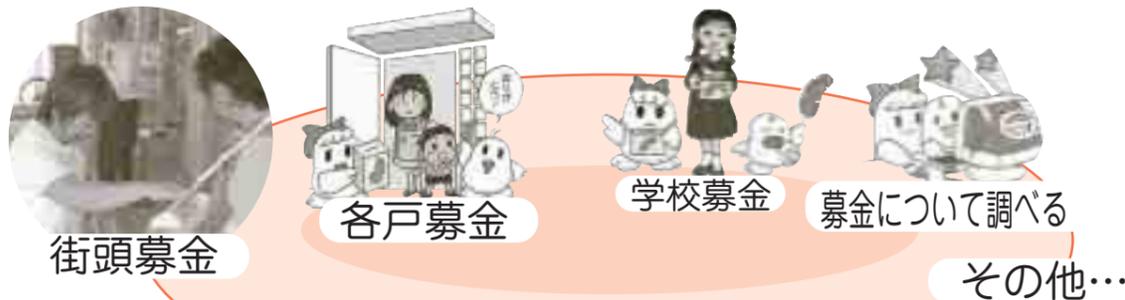
- 井上田鶴子・藤野久代・石川リツ子
- 福井サン・村上文江・児島甲江
- 池田美智子・浜田精子・高井妙子
- 石川通政・佐々木菊美・三島和子

あなたの町のボランティア情報局

赤い羽根共同募金 募金ボランティアって何??

募金ボランティアとは、職場・学校・家庭から募金することだけでなく、街頭募金や募金を集めてまわったりすることもあります。あと、共同募金の使い方や、住んでいるまちで行なわれているたすけあいについて調べることもボランティアです。

募金を集めるのも入れるのも募金について調べるのもすべて募金ボランティアということです。



すべて募金ボランティアです!!

ボランティアアクセスガイド

- ①活動内容 ②活動期間・時間 ③募集人員
- ④活動先のPR、参加者へのメッセージなど

「ボランティアをやりたい!でも...どうすればいいの?」そんなあなたに“とっておき”の情報をお届けします。

おきのしまTOWN ボランティアセンター VOLUNTEER CENTER

だより VOL.3

隠岐の島町社会福祉協議会
隠岐の島町原田396番地

ボランティアのできる施設情報

連絡先・問い合わせ先は...

隠岐の島町ボランティアセンター(隠岐の島町社会福祉協議会内)

隠岐の島町原田396番地
隠岐の島町社会福祉センター内

☎ 2-0685 お気軽にどうぞ...

仁万の里

- ① (1) 利用者との交流と作業活動の手伝い
(2) 土・日曜日の余暇活動の手伝い
(3) 施設行事の手伝い ※要お問い合わせ
- ② 年間を通して (1)・(2) 10時~16時
- ③ 2~10名
- ④ 利用者や隣人としての関係を作ってみませんか? どなたでも歓迎します。

中村デイサービス

- ① 話し相手・趣味活動 (花札・折紙・編物) 環境整備
- ② 時期:いつでも 時間:10時~16時30分
- ③ 1~5名
- ④ 気軽に遊びに来てください。

特別養護老人ホーム 静和園

- ① 話し相手・お茶会・クラブ活動・環境整備・園芸等
- ② 9時30分~12時30分
14時00分~16時30分
- ③ 20名以内
- ④ どなたでも、また一人からでも大歓迎です。一度気軽に遊びに来てみてください。待っています。

養護老人ホーム 清松園

- ① 日常生活に関わる活動/車椅子・窓の清掃・障子貼り・園周辺環境整備 行事への参加/地域交流盆踊り 伝統芸能・民謡の招聘/神楽公演民謡 その他/花壇整備・喫茶等
- ② 要相談
- ③ 特になし
- ④ 私たちは、「共に生きる町づくり」を目指そうとする温かい心を大切にします。まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

高齢者生活福祉センター 蓬萊苑

- ① 偶数月開催の施設での誕生会の余興・環境整備(施設周辺、花壇等の草取り 他) 話し相手・趣味活動
- ② 誕生会の余興以外はいつでも 8時30分~17時15分
- ③ 3~5名
- ④ 出来る人が、出来る事を、出来る時間を楽しみさせていただきます。

ワークハウス若葉

- ① 縫製・牛乳パック製品作り せんべい作り・廃油での石鹸作り・庭・墓掃除・障子貼り
- ② 9時~16時
- ③ 1~2名
- ④ どのような所か、一度立ち寄ってください

とって・隠岐 お知らせ コーナー

第1回国勢調査記念 絵はがき展を開催しています！

現在隠岐の島町立図書館で、第1回国勢調査記念絵はがき展が開催されています。

この絵はがきは、今年で18回目を数える国勢調査を実施するにあたり、町民の意識



●図書館入口近くの展示ボックスで展示しています

の高揚を図ればと布施地区にお住まいの山口良平さんよりお預かりしたものです。

大正9年から始まった国勢調査ですが、第1回調査当時は、この調査により国民の生活の状況を把握し国政に生かすための重要な調査で、明治維新から50年がたった後の近代的な国家に成長していく日本においては大事業でした。

かなり多くの種類の記念絵はがきが発行されたことから、いかに大きな事業であったことがよくわかります。

平成17年国勢調査につきましては、町民の皆様のおかげで無事終わることができましたが、今回感じたことは、個人情報の流出事件や個人情報保護条例の制定などにより、それぞれが個人情報に敏感であったように思われます。

また、調査票に関してはかなり個人情報にこみいった内容で、時代にそぐわないという声が多々ありました。

国においても今回の国勢調査により、検討委員会を設け、検討に着手しております。5年後の国勢調査では町民ひとりひとりが気持ちよく調査票に記入できればと思います。

また、11月22日(火)には松江市で平成17年度の島根県各種功労者表彰が行われ、4名の方が表彰されました。

- 大上 進さん
 - (元) 布施村議会議員 布施村助 役・収入役)
 - 石原 由一さん
 - (現) 隠岐の島町交通指導員)
 - 濱田 利長さん
 - (元) 都万村漁業協同組合組合長
 - 現 おき西郷漁業協同組合理事)
 - 宇野 力夫さん
 - (元) 公立学校長
 - 隠岐島後教育委員会委員長)
- 表彰された皆様おめでとうございませう。

省エネしましょう！

- ★冬の省エネ！
- ★暖房機器は室温20℃を目安に調節しましょう。
- ★暖房機器は不必要なつけっぱなしをせず、こまめに消しましょう。
- ★見直してみよう！
- ★冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置しましょう。
- ★電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネルギータイプのもものを選びましょう。
- ★部屋の照明を購入するときは、省エネ型の電球型蛍光灯ランプを使用するようにしましょう。



環境は大事だよ～

隠岐の島町特定事業主(※)行動計画を策定しました

1 目的

急速な少子化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応するため、次世代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会の形成に資することを目的とし

- 2 その他の次世代育成支援対策に関する事項
 - (1) 子育てバリアフリー
 - (2) 子ども・子育てに関する地域貢献活動
 - (3) 子どもとふれあう機会の充実
- ※ 特定事業主とは、国及び地方公共団体の機関をいいます

2 計画期間

平成17年4月1日から平成22年3月31日までの5年間

—— 具体的内容 ——

- 1 職員の勤務環境に関するもの
 - (1) 妊娠中及び出産後における配慮
 - (2) 子どもの出生時における父親の休暇の取得の推進
 - (3) 育児休業等取得しやすい環境の整備等
 - (4) 超過勤務の縮減
 - (5) 休暇の取得の促進
 - (6) 人事異動における配慮
 - (7) 職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識等の是正のための取組み

「就職フェアしまね」開催！

平成18年3月大学・短期大学・高等専門学校・各種専修学校を卒業する方(平成17年3月大学等を卒業後、未就職の方も含まれます)を対象に、県内企業による面接及び情報提供、ジョブカフェコーナーでの情報提供や適職検索、キャリアカウンセリング等を行います。

○開催場所及び日時

松江会場
平成18年1月14日(土)
13:00~16:00
松江テルサ
(松江市朝日町478-18 JR松江駅前)

○問い合わせ先

〒690-0003
島根県松江市朝日町498-6
松江駅前第一生命ビル3階
(財)ふるさと島根定住財団
ジョブカフェしまね

TEL 0852-28-0691 FAX 0852-28-0692
E-mail shimane@teiju.or.jp
URL <http://www.teiju.or.jp>

